

新年のご挨拶



西尾労働基準協会
会長 榊原利夫

明けましておめでとうございます。旧年中、会員の皆様方には当協会の事業運営につきまして多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。また、新たな決意、希望をもって初春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。旧年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、これを踏まえた再々の緊急事態宣言の発令等が、社会経済活動全般に、又労働環境など広範に影響をもたらしました。

又、本年度も、新しいオミクロン株のまん延が予想されている中、日本経済は依然として厳しい状況が続くと思われまます。この様な状況の中、旧年度の西尾地区の労働災害発生状況は、対前年比に比べ増加傾向は見られますが、一方重大な災害発生要因は減少、死亡災害につながる要因も減少し、結果 8年ぶりの死亡災害ゼロ達成です。内容を更に向上させるべく、第13次労働災害防止推進計画の目標達成にむけ愛知労働局安全方針「危なさと向きあおう」と歩調をあわせてリスクアセスメントの推進に今後も取り組んでまいります。

その一環として、「危険源の調査」をテーマとした確認会を西尾労働基準協会と岡崎基準監督署西尾支署と連携し、各事業所の取り組みについて確認する訪問活動を旧年に引き続き行なっております。この活動は西尾独自の活動で、この2023年から始まる第14次労働災害防止推進計画に先がけ西尾管内の事業所、約600社を対象とした活動で、安全定義に沿って作業に関わる危険源を整理してリスクと向き合う取り組みで、業務中や作業中に分かる危険源ではなく、改めて作業工程などを含めた全体を網羅した危険源の洗い出しを目的にしている活動であり、今年7月に45社への訪問が終了し、次に危険源調査を行なった45社が先導役となり、全会員へ活動の輪を拡げてまいります。「私たちが守り抜いてきた会社を未来永劫、維持発展させるためにも危険リスクを次世代へ伝えていくことが大切」であります。

又、働き方改革におきましては、コロナ禍での新しい日常での働き方として、時間や場所を有効に活用できるテレワークの定着の推進を図るため、その一環として1月25日に出前講座、テレワークで会社が変わる基調講演「ものづくり地域におけるテレワークでチャンスをつかむ～中小企業こそ取り組むべき働き方改革～」を予定しております。多くのご参加をよろしくお願い致します。

この様に当協会としては、岡崎労働基準監督署との連携のもとに企業ニーズを踏まえた各種研修会、講演会、技能講習など活動を図ってまいります。

西尾地区で働くすべての方々が、安心、安全、健康に働ける職場づくりに貢献できる協会を目指しております。本年も旧年同様、協会の活動に対して皆様のご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

最後に会員会社様の益々のご発展と、ご繁栄を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。